

タンネウシ



10

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

第41回知床博物館特別展 「鮭と川と人と」

斜里町の重要な水産物である“サケ”。しかし、サケの重要性や魅力は単に水産物ということだけにとどまりません。この特別展では、サケが大昔から川をのぼり、支えてきた自然、産業、文化、歴史などとのつながりについて紹介します。▶期間：10月7日(水)～12月20日(日)▶会場：交流記念館ホール(知床博物館となり)▶特別展のみの観覧無料



産卵中のサケ

特別講座

「サケの遡上・産卵観察会」

川に遡上したサケを観察します。身近な川で実際のサケに触れ、産み落とされた卵を観察することで、サケの生態や産卵に大事な川的环境について学びます。参加者全員にオリジナルのサケの仲間グッズをプレゼント!▶主催：斜里町立知床博物館協会▶日時：10月25日(日)9:00～12:00(小中学生対象、定員

20名、要申込)▶場所：町内河川▶服装：汚れても良い服装、防寒着、長めの靴下▶講師：三浦学芸員▶荒天時は室内での講座と特別展の解説をします

収蔵資料展示

「暮らしの中の懐かしい衣服」

暮らしの変化に伴い、目にする機会が減ったちゃんちゃんこや脚絆といった懐かしい衣類を展示します。これらには、生活の知恵が詰まっており、使いやすさの工夫が随所に見られます。ぜひこの機会にご覧ください。▶会期：9月16日(水)～11月29日(日)▶会場：博物館本館受付前▶本展示のみの観覧は無料



てっかえし

観察会

「秋の星座を見てみよう!」

秋の星座には、明るく輝く一等星はありませんが、アンドロメダ大星雲やペルセウス座の二重星団など天体望遠鏡で見えて楽しい天体が多くあります。東に牡牛座のす

ばるが、西には天の川が残るなど、夏と冬の両方の天体を見られます。▶日時：10月16日(金)19時～20時30分(参加無料、要申込)▶悪天候の場合は17日か18日に延期▶場所：知床博物館▶持ち物：防寒着▶講師：村上、合地学芸員

早朝草取りボランティア

今年最終回です。お手伝いをしていただける方はどうぞ宜しくお願いいたします。▶日時：10月10日(土)6:00～7:00▶博物館野外観察園集合▶雨天中止

学芸員のイチオシ



GENTOSの小型ヘッドライト

防災グッズとしても大事なヘッドライト。胆振東部地震の停電時にこのライトに大いに助けられました。ヘッドバンドが3本あることで装着時に安定し、小型で軽く、単3電池1本で長時間明るく照らせる利点を持ちます。(三)

休館日 10月の休館日は5・12・19・26日の月曜日です。

編集後記 今年も冬タイヤに履き変えるタイミングに悩む季節がやってきました。(三)